

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	S27 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康長寿				
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化		4-5 地球環境への貢献		

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○森林法第25条で掲げる目的を達成するため、特に重要な森林を農林水産大臣又は県知事が保安林に指定し、適正に管理、保全することで公益的機能の発揮を目指す ○森林法第10条の2の規定により、1ヘクタールを超える森林の開発計画に対し、適正な調査及び指導により森林の代替機能が維持され、安全が確保されているか確認するとともに、無秩序な開発の防止を目指す	
	【これまでの取組】 ○森林の持つ公益的機能を発揮させるため、特に重要な森林を計画的に保安林に指定するとともに、既指定地を適正に管理する ○1ヘクタールを超える森林の開発行為に対して、適正な調査、指導、監督等を行い、無秩序な森林の開発を防止する	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 指定施業要件の変更は、例年3,000haを超える面積を変更しているが、目標としている全体面積を達成するには至っていない。 紙媒体の保安林台帳を効率的に管理・共有するために、保安林台帳の電子化が必要である。 適正な管理が求められている保安林指定地において、損失補償に係る適正な補償を行うため、対象となる保安林すべて調査の必要がある。 林地開発制度や手続きに必要な書類等の理解不足による無秩序な開発の恐れが生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 間伐計画がある保安林や大面積の水源林のある保安林等の優先度の高い保安林の指定施業要件の変更の実施により森林の公益的機能の更なる発揮を図る。 保安林情報を迅速に更新・情報共有することにより、効率的な保安林管理業務を進めるための保安林台帳の電子化を実施。 森林の公益的機能の維持を図り、既に指定された保安林の適正な管理の実施のため、既指定地における保安林損失補償の見直し調査を実施。 開発行為者に対する制度説明や関係書類の補正指示等の適正な指導を行い、林地における無秩序な開発の防止の徹底を図る。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保安林整備受託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国庫委託事業内示割れによる減額 ✓ SDGs森林の再生発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、植樹活動（ABMORI）の規模を縮小したことによる減額 ✓ 保安林適正管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事業量を減らしたことによる減額
--------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)			
											R1年度	R2年度			R3年度			
事業コスト	予算額	前年度繰越																
		当初予算							31,001	26,042							42,322	
		補正予算									-2,506							-5,152
		合計(A)							31,001	23,536								37,170
		うち一般財源								4,692	4,961							6,702
		決算額(B)								27,043	20,327							
									15.0	15.0							15.0	
成果指標設定理由	1. 森林の無秩序な開発を防止するため、林地開発許可制度に係る違反行為に対して是正措置等を講じた割合を成果指標に設定 2. 森林法に基づく保安林の指定及び既指定地を適正に管理するための面積を成果指標に設定（参考）																	

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検				
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		
細事業No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
1	保安林整備受託事業費		計		計		当初予算	28,600
							補正予算	-1,617
			千円		千円		計	26,983
千円		千円		千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	保安林指定・解除調査	直接	会計年度任用職員の雇用（延べ48ヶ月）、境界確認、林況調査、取りまとめ、所有者へ通知 【金額 9,235千円】					
2	保安林適正管理調査	直接	保安林管理図の作成（全県版）、新規指定された保安林情報の電子化（70件）、衛星デジタル画像の整備（隔年） 【金額 11,102千円】					
3	保安林損失補償金	直接	1号から3号保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 【金額 752千円】					
4	特定保安林選定調査事業	委託	国庫委託事業内示割れによる減額 【金額 △1,617千円】					
5	保安林整備推進事業	直接	会計年度任用職員の雇用（延べ35ヶ月）、境界確認、取りまとめ 【金額 5,894千円】					
細事業No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
2	保安林整備管理事業費		計		計		当初予算	6,661
							補正予算	0
			千円		千円		計	6,661
千円		千円		千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	保安林指定・解除等調査	直接	会計年度任用職員の雇用（延べ21ヶ月）、境界確認、林況調査、取りまとめ、所有者へ通知 【金額 3,739千円】					
2	保安林管理業務	直接	標識の購入（204本）と設置補助（約50日）、会計年度任用職員の雇用（延べ4ヶ月）、台帳整備 【金額 2,173千円】					
3	保安林損失補償金	直接	4号以下の保安林における立木の伐採制限に対する利子相当分の補償 【金額 749千円】					
細事業No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
3	林地開発許可制度実施費		計		計		当初予算	501
							補正予算	0
			千円		千円		計	501
千円		千円		千円				
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	林地開発許可制度等実施事業	直接	開発許可調査、測量、審査、許可条件履行調査、指導等（開発見込み面積332ha）、森林審議会の開催（4回）					

事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-------------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		4	SDG s 森林の再生発信事業				
		計	0	計	1,360	計	25
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	SDG s 森林の再生発信事業	直接	植樹活動（ABMORI）に「長野宣言」賛同者が参加しSDGsの取組を体験する ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、参加者を県内に限定して実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		5	保安林適正管理事業				
		計	0	計	0	計	3,000
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	保安林適正管理事業	委託	保安林損失補償の対象となり得る既指定地について、調査の見直しを実施する ①既指定地について、航空レーザ測量を活用し、保安林の林況、治山施設の有無、資源成長量の推測等の調査を行う ②損失補償調査で必要となる基礎情報を整備し、補償額を算定するためのシステム化を図る